

個別のプログラムの詳細と、スタッフの状況に関する報告

1. 個別のプログラムの詳しい内容・留意事項

○全体を通して

手話のできないきこえる保護者のために、手話通訳ができるきこえるスタッフ(以下「通訳兼任スタッフ」という)等を配置し、音声による情報保障や手話通訳により、きこえないスタッフ(以下「ろうスタッフ」という)やきこえない保護者とのコミュニケーションが図れるようにしている。

○絵本読み

- ・「こめっこ」での絵本については3歳児でもついていける、分かる内容のものを選んでいく。
- ・「こめっこ」の参加を通じて、子どもたちの手話力が少しずつ向上しており、その手話力のレベルに合った絵本を選んでいく。
- ・絵本読みが手話劇にならないように、座って語ることにより、あくまでも絵本読みとして実施している。これによって、「手話」に重きを置くようにしている。
- ・きこえる子どもと同じように、絵本を通して、「知りたい」、「分かる」、「なんだろう?」といった知識欲、理解欲、疑問をもつ体験をする。
- ・保護者が絵本読みの手話を通じて、手話を学んで習得できるよう、音声による通訳も保障する。

○手話表現遊び

- ・音楽に合わせるのではなく、「きこえない人達がそのまま表現するとどうなるか」を体験する。
- ・手話ならではの表現などの要素を盛り込み、楽しみながら手話を覚えることができるようにする。

○0-2 歳児グループ

手話を母語とする成人による手話表現遊び(名前呼び、手遊びを手話表現にアレンジするなど)および絵本読みを行うことで以下の機会を提供する。

- ・聴覚障がいがあっても、目でみることばである手話を通して、楽しくやりとりできることに気づく
- ・聴覚障がいのある成人スタッフと出会い、関わることで、子どもの将来像を保護者が描くことができるようにする。
- ・保護者と子どもが共に楽しく過ごし、同じ体験を共有する中で、自然に手話に触れ、自然に手話をつかうことができるようにする。
- ・ろうスタッフが子どもと目を合わせて、子どもが自然に手話でやりとりする様子を保護者に見てもらうことで、保護者に子どものコミュニケーション能力とその成長を実感してもらう以上のことを通じて、保護者が手話を習得し使う意欲、子どもが自然に手話を獲得し、コミュニケーションを取ろうとする気持ちをはぐくむ。

○手話つくろう

- ・手話の手型から、生き物や植物、乗り物、ことばなどを手話で表現する。
- ・絵カードを使うことで、手話の表出を促したり、心の中のイメージと手話を結び付けたりする。
- ・保護者にも参加してもらうことにより、子どもたちにも保護者にも、より楽しみながら手話を習得してもらう。

○スタッフクイズ、仲間はずれはどれかなクイズ

- ・きこえる子どもが普通の生活の中で理解したり習得したりしていくような知識を盛り込んで、遊びながら、それらを覚えていくことができるようにクイズの内容を作っていく。
- ・決まった正解だけではなく、それ以外の見方や考え方も引き出し、子どもが自分で考えてみて、理解することができるよう、プレイフルな環境をつくっていく。

○手話ろうタイム(保護者向けの簡単な手話の講座)

- ・「手話はやはり難しい」と思われないように、2 語文、3 語文を中心に例文を考える。
- ・家に帰ったらすぐに使える例文、単語を考える。
- ・手話を覚えるのが初めてである保護者が持つ手話への疑問に答えたり、手話の由来や意味を分かりやすく伝えるために、手話を習得した聴スタッフによる音声での説明を取り入れたりする。

○保護者同士の交流会

- ・同年齢、異年齢を持つ保護者との交流を通して悩みや問題の共有、情報交換を行う。
- ・必要に応じて臨床心理士等によるファシリテートも行う。

○ろうスタッフによるミニレクチャー(体験談)

- ・ろうスタッフの生い立ちを保護者に聞いてもらい、子どもの心身の成長に必要なことや将来についての見通しを考えてもらう
- ・きこえないこと、手話について知り、理解を深める

○第二部(2 歳以下の子どもと 3 歳以上の子どもとで部屋とプログラムを分けて行う「あそび」の場。当然、手話を中心としたコミュニケーションを行う。ここでは、3 歳以上の子どもに限る)

- ・遊びの中で、子どもたち(きこえる、きこえないに関わらず)が自然に手話を見て、手話を使う機会をつくる。
- ・さまざまなスタッフの手話による会話を見て、手話による会話に参加する機会をつくる。
- ・遊びの中で発生するスタッフ同士、子ども同士、スタッフと子どもの話し合いについて、なぜそのような結論になるのかの過程や、遊びのルール(こまかいことやその日に子どもたちとスタッフとの話し合いで決めることも含む)を手話で丁寧に説明し、集団や2人で一つのことを決めようとするときの意思形成の過程や、話の流れを理解できるようにする。

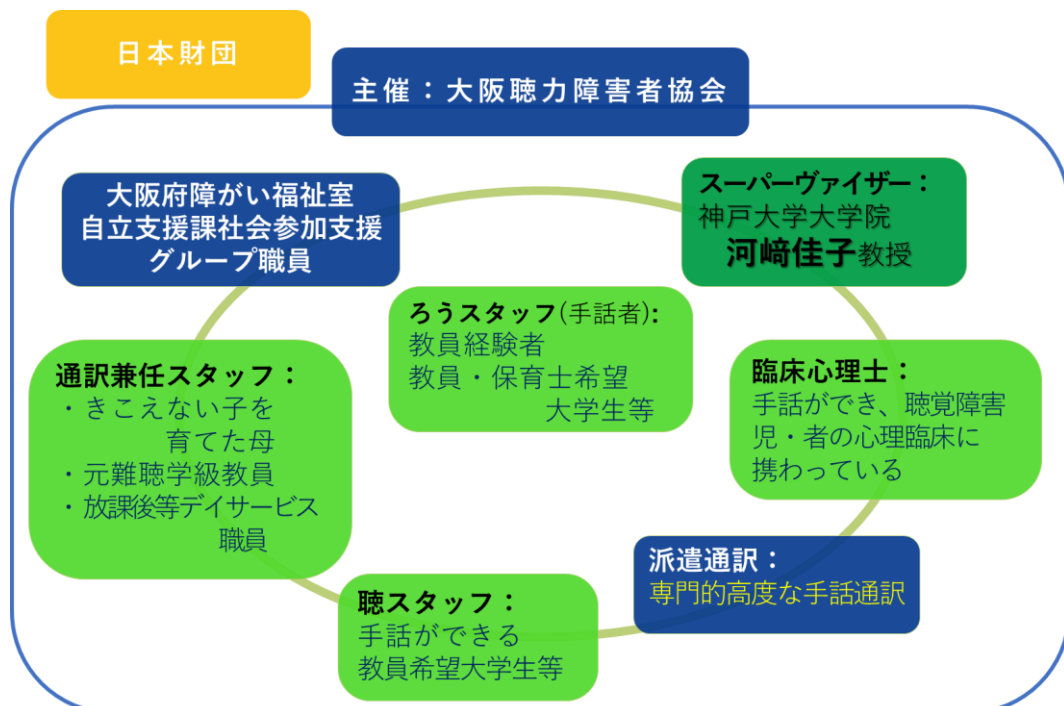
2. 個別のプログラムを開発するのに、どれだけの人員・時間をかけてきたのか

- ・1回の活動について、最低2時間のミーティングをおおむね2回実施。ひとつひとつのプログラムについて、子どもの心理発達や、保護者支援を専門とし、「こめっこ」の提唱者・発案者であるスーパーバイザー（河崎佳子神戸大学大学院教授）とメインスタッフ2名（大阪聴力障害者協会職員）とで、それらの詳細を話し合い、決定。また、実施にあたっては、準備やリハーサルも入念に打ち合わせ。「こめっこ」に参加している子ども個々の発達状況に合わせて、当日の活動内容や手話表現を決定。
- ・当日に参加するサブスタッフについても、「こめっこ」活動開始時間の1時間前に、内容や留意点に関するミーティングを実施。また、活動後も1時間程度のミーティングを通して、次回に向けた意思や情報の共有を図っている。
- ・活動中に把握した子どもの発達状況などや、スーパーバイザーやスタッフの気づき、保護者からの相談などの内容などを記録し、データベース化している。

○プログラム開発の具体例として、

- ・絵本に関しては、毎回の「こめっこ」ごとに、参加する子どもたちの手話等のレベルや状況に合わせてスーパーバイザーとメインスタッフとで議論をし、どの絵本を選ぶのが適切かを決めていく。併せて、絵本の内容の伝え方や表現方法についても、リハーサルをして事前に確認をしている。
- ・手話ろうタイム（保護者向けの簡単な手話の講座）については、絵本と同様に参加する保護者の手話等のレベルに合わせて、毎回のテーマや例文を検討している。手話表現については、メインスタッフ2名（手話が母語）で話し合って決めている。さらに、事前に動画を撮り、活動日の翌週に facebook や youtube にアップロードし、保護者が復習できるようにしている。

3. 「こめっこ」のスタッフ状況



○スーパーバイザー

- ・「こめっこ」の提唱者・発案者。
- ・子どもの心理発達、保護者支援の専門性を有する存在。
- ・きこえない子どもたちが、「手話を見て理解する」、「手話で伝える」、「手話で考える」ことができるように、「こめっこ」をどう展開していった、どこを目指していくかといった具体的な部分、目的を具現化させる役割を担っている。そのために、「こめっこ」スタッフと密にミーティングをして、活動中も全体を見ながら必要に応じてアドバイスをしたり、進行管理をしたりする。ミーティング(反省会)でもスタッフ全体の意見を取りまとめ、共有化していく存在である。ただし、あくまでも手話獲得の場であることを考慮し、ろうスタッフよりも前に立つことは極力しない。

○ろうスタッフ

- ・中心となるメインスタッフ2名(手話が母語)は、流れや内容を考え、スーパーバイザーと密にミーティングをする。また、活動日に向けて使用する教材の準備(作成・確保など)を行う。
- ・活動中は全体の進行のほか、第二部に移行した後も中心的に他のスタッフへの指示や、保護者や子どもたちへの説明を担う。
- ・サブスタッフ(教員、保育士志望のろう大学生等)は、活動中のサポート、子どもや保護者と交流を担う。
- ・きこえない子どものロールモデルが、ろうスタッフ全員の役割である。

○通訳兼任スタッフ

- ・手話通訳士の資格だけでなく、きこえない子を育てた経験や、元難聴学級の教員、放課後等デイサービス職員等、実績を有する。
- ・活動中の通訳やサポート、保護者間、保護者とスタッフ間の橋渡しの通訳をする。

○聴スタッフ(手話ができる教員志望の大学生等)

- ・活動中のサポートや、子どもや保護者と交流をする。
- ・子どもたちが、きこえる存在を平等な立場で知ることができる存在である。

○臨床心理士

- ・新規の参加者に対する初回面接や保護者交流の進行、保護者からの相談対応等を担当しながら、「こめっこ」活動全体の流れをモニター(観察)する役割がある。

H29 年度末アンケートのまとめ 報告

「こめっこ利用に関するアンケートのお願い」

対象者:「こめっこ」に3分の2以上参加している保護者

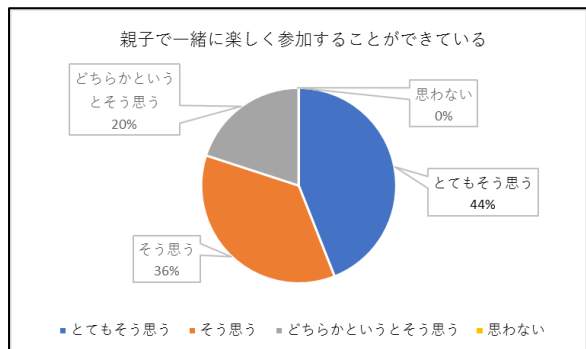
配布方法:①2018年3月3日と3月17日に参加した保護者へは手渡し。

②上記日程に参加できなかった保護者へは郵送した。

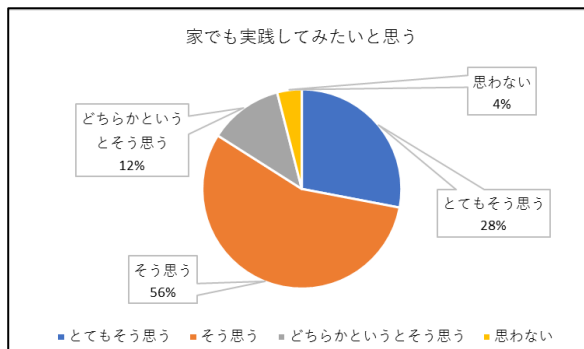
回収日:2018年3月3日～2018年4月10日 【回収率78%(25/32家族)】

1. こどもの部(絵本、手遊び、クイズ、ゲームなど)について

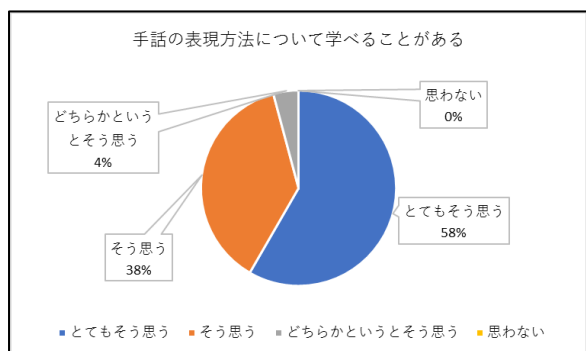
○親子で一緒に楽しく参加することができる



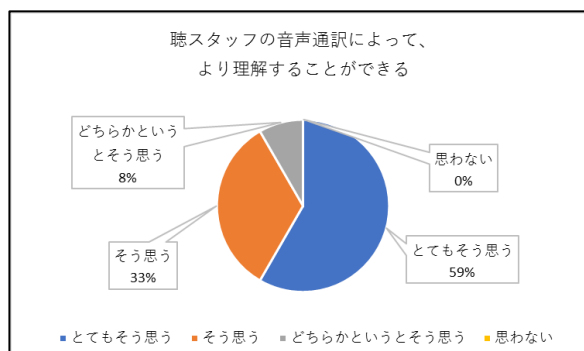
○家でも実践してみたいと思う



○手話の表現方法について学べることもある



○聴スタッフの音声通訳によって、より理解することができる



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・こめっこに来る前は、手話と接することが無かったので、通訳の方がいて下さってとても助かりました。こどもの部で遊んだ内容はすぐに家で取りくめる物ばかりで、楽しく参加させて頂いております。聴覚障害のない子も喜んで参加しています。
- ・息子は家に帰って来てからも手遊びを真似てます。
- ・絵本タイム、1歳前後の子だと少しとつきにくい?のかな。慣れれば見るのかな?絵本意外に手話に特化した手遊びなどあればと思います。
- ・子ども本人がぐずっていることが多く、あまりテンションが上がっていない。現状、うちの子が絵本にあまり興味がないですし、名前よびだけだと飽きてしまっている感じ。年齢や聴力の差もあるので遊びのバリエーションをもたせるのはなかなかむずかしいですが、今まで学校の早期相談の際で、割と反応が良かった遊びなら、0歳さん達も2歳児もあそべるかと思い記入します。
- ・新聞紙をちぎって、まきちらす。上からふってくるのがこそばいようなふしぎなかんかくなのか、楽しんでました。
- ・タイコたたいて、さわる。振動を感じてびっくりしたり、笑ったりした。「わ～お」でおどったりするのめっけこう好きでした。
- ・ナイロン袋にちぎった色紙入れて、口をして「あー」と音を出して、さわらせる

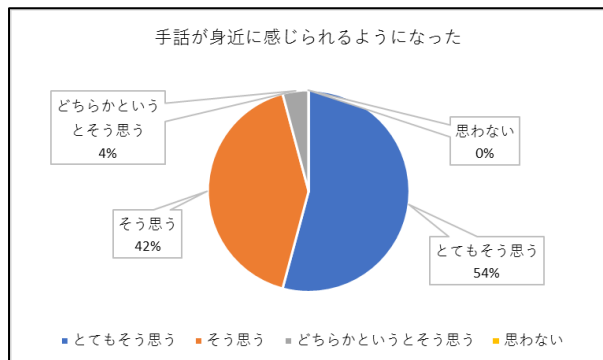
H29 年度末アンケートのまとめ 報告

3歳児以上の保護者

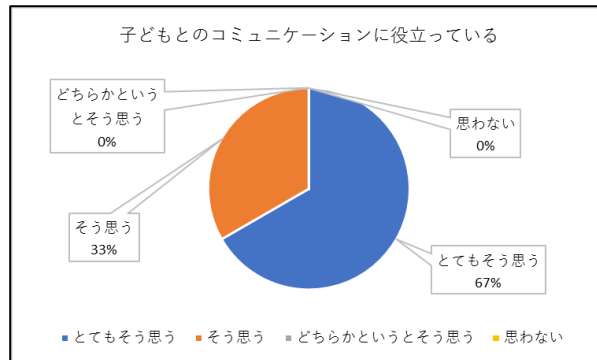
- ・手話で内容はしっかりと理解できているとは思いますが、日常は手話+音声で過ごしているので、手話だけよりは口も一緒に動かして頂けるといいなと思う時があります。口の動きと通訳の方の声が合わなくて不自然になってしまう所もあるかと思いますが、ご検討下さい。
- ・手話表現とともに、音声はなくても良いのですが、口形をつけてもらおうと子供は手話がもしわからなくても読むことができるのであると、より楽しめます。

2. 手話ろうタイム10！（保護者手話学習会）について

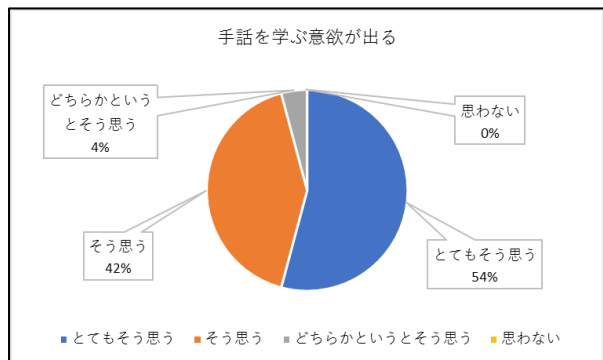
○手話が身近に感じられるようになった



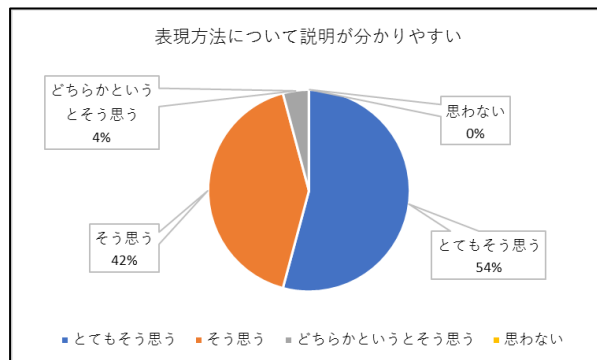
○子どもとのコミュニケーションに役立っている



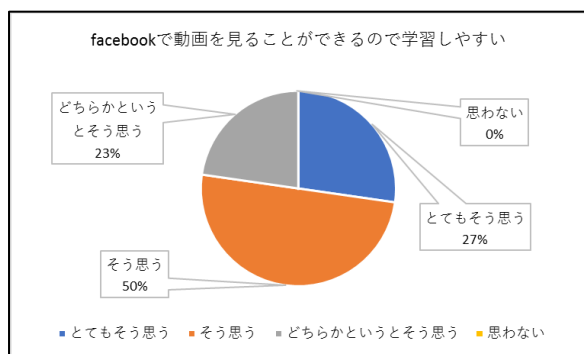
○手話を学ぶ意欲が出る



○表現方法について説明が分かりやすい



○facebook で動画を見ることができるので学習しやすい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・手話ろうタイムを毎回楽しみにしています。手話との距離がぐっと近づくように思います。身近な子供とのやりとりを手話して頂いて、大変勉強になっています。復習にはいつも頂く資料を拝見しています。Facebook をふだん見ていない

H29 年度末アンケートのまとめ 報告

のと、子供が小さく携帯をさっと見る時間が作れず、利用していません。

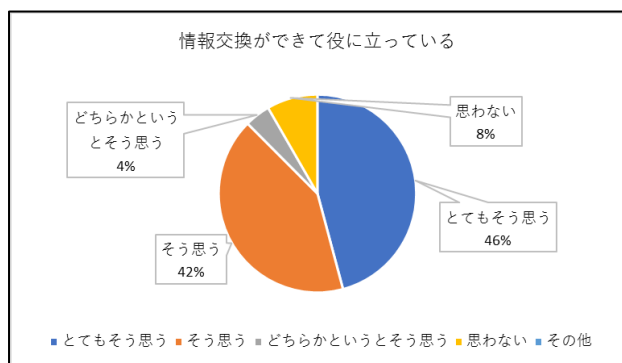
- ・FB で確認が出来るので忘れた時とかはありがたいです。
- ・facebook やっていないのでわかりません。ワンポイントで使う手話をあげていてわかりやすいと思う。配布用紙も写真も使っていて分かりやすいが、指が光でとんでしまっている部分があるので本当の初心者は？この指の動きってどうなってるの？ってなる所あるかも
- ・日常で使う表現を教えて頂いてすごく役立っているし、使おうと意欲が出る。他の勉強会などでは、どうしても話し言葉ではないし、未就学児に使う例文でなかったり覚えても使う機会がないし、忘れても、メモが難しく(絵をかくのが苦手なものもあり)、なかなか手話が増えないが、思い立った時に携帯でもサッとみれる動画はすごく役に立つと思います。河崎先生の隣での解説や、手話を知らない私達と同じ目線の疑問を持って下さりすごく分かりやすいと思います。
- ・facebook は助かります。1度見ても絶対忘れてしまいます。労力や視聴等の割合が合わないかもしれませんが、すき間時間に見れたり、実際の動きなので、本ではわからない所が見れる事が大きなメリットとして見させていただいています。

3歳児以上の保護者

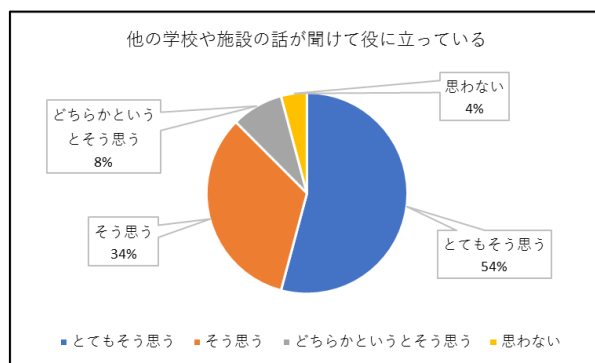
- ・教えていただく手話は日本手話で健聴の私にはなかなか文法が難しいです。家や学校では日本語対应手話を使っているので、そちらの表現も教えていただけると嬉しいです。
- ・facebook みないです。
- ・手話を学ぶ機会がなかなかない方にとってはとても良い時間になっているかなと思います。日々の生活の中で保護者の方が疑問に思った手話、分からなくて困ったり、どう表すのかなと思った単語など質問できる時間があっても面白いと思います。
- ・一般の手話学習会やテキストでは学べない、まさしく「いま、我が子とコミュニケーションする時に使いたい言葉」を動画付きで学べるのが、すごくいいです。
- ・手話学習をレベル分けして欲しい。

3. 保護者交流について

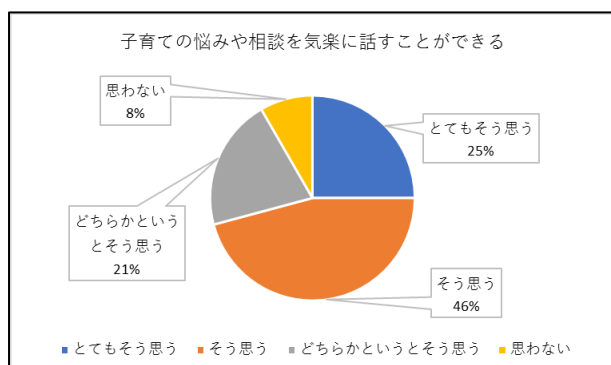
○情報交換ができて役に立っている



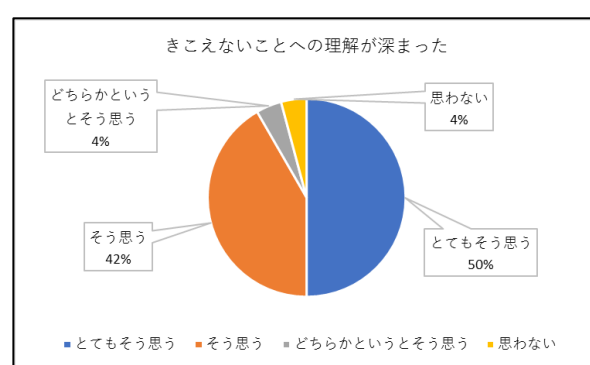
○他の学校や施設の話が聞けて役に立っている



○子育ての悩みや相談を気楽に話することができる

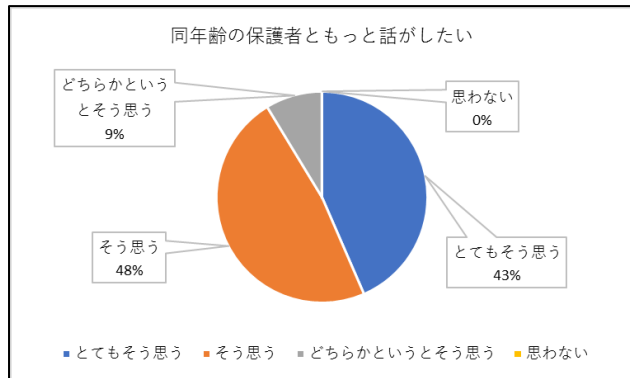


○きこえないことへの理解が深まった

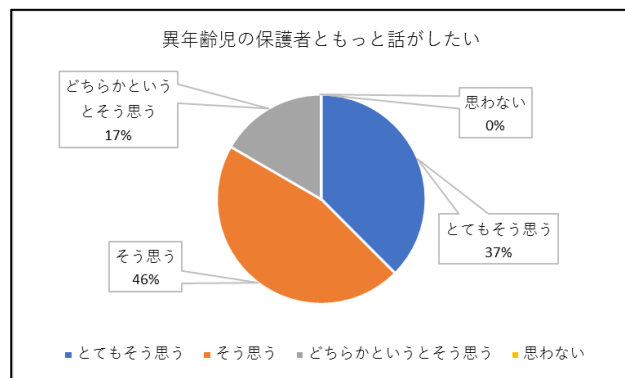


H29 年度末アンケートのまとめ 報告

○同年齢児の保護者ともっと話したい



○異年齢児の保護者ともっと話したい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・ろう学校のことや、子供の教育について、上の年齢の子をお持ちの方から話が聞けてありがたく感じます。「聞いていいのかな？」と感じてしまうことがまだ多くあり、自分の娘のこれからでてくるかもしれない重複障害のことを自分が気にしているせいもあり、ざっくばらんに質問しづらいと感じています。
- ・色々なことが聞けるので、先のこととか考えやすいです。
- ・前回はじめて 1 回参加しました。色々な人の話がきけてとても良かったけど、人によったら話したいテーマとか決まってる人もいるのかもかと思いました。
- ・来年子どもが幼稚部の年少に入るので、今幼稚部へ通われているご家族の話を聞いてみたい
- ・色々な方のお話を聞きたいが、人数が多すぎるとなかなか意見を言えないし、聞き取りにくいと思うことが少しある。喫茶店でお話するように、気楽にお話しをする感じも欲しい。あと、話題のテーマなどがあると、毎回きても、話すことない、聞くことない、何を話したらいいかわからないということがなく、話が出る。
- ・どちらかという、年上の子供さんのお話を聞きたいです。もちろん、下の年齢のお子さんのお話も聞きたいですし、話せることはどんどんお話しさせていただければと思います。就学してからの習い事や塾が必要になったときのことなど、こめっこの方で情報もっておられたら、そういう話もききたいです。
- ・自分1人で調べるよりも、確実に情報量が増えています。

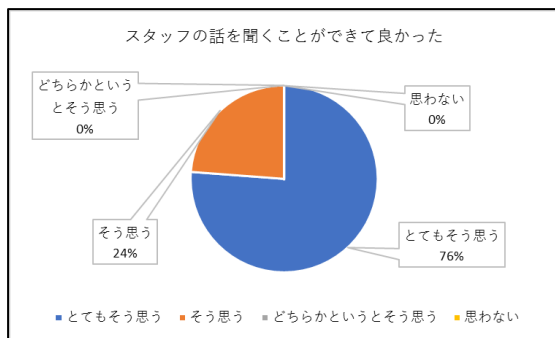
3歳児以上の保護者

- ・制度上、どの支援学校に通うかの選択を親はできません。ですので、他学校のお話をきいても、小学部からそちらへ通う等はできないため、参考にしにくいです。学校のお話よりも、放課後デイや児童発達支援のお話をきけたらなあと思います。
- ・テーマ等が決まっていなくてなかなか話すのが苦手で、たいした事が言えず、困ることもありますが、違う学校の方々とも交流ができて、とても良い時間がもてています。
- ・他の学校や施設の話が少ない。
- ・きこえないことに理解を深めているつもりでしたが、この頃、難聴児の娘が迷子になるなどきちんと最後まで意思疎通ができていないんだなと気づかされる出来事が立てつづけに起こり、今一度、娘がどこまで理解できているのかを考えないといけないなと思っています。

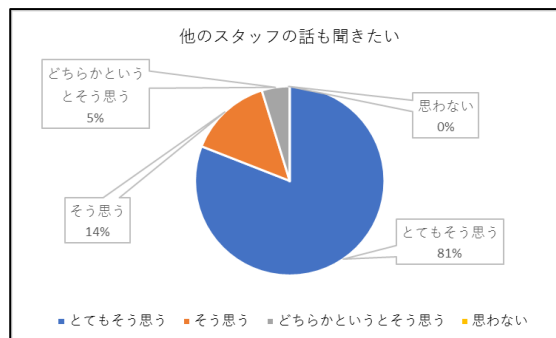
H29 年度末アンケートのまとめ 報告

4. ろうスタッフのミニレクチャー(20~30 分間の生い立ちや体験談)について

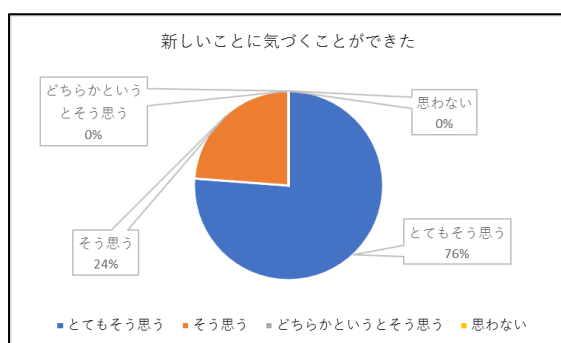
○スタッフの話聞くことができて良かった



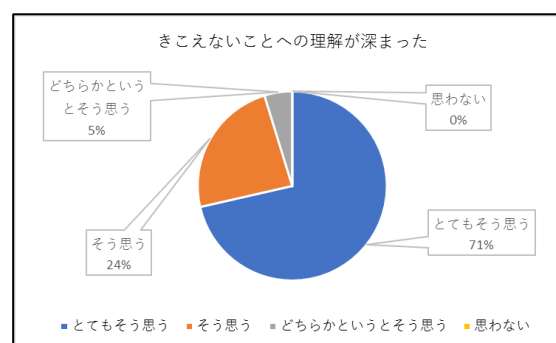
○他のスタッフの話も聞きたい



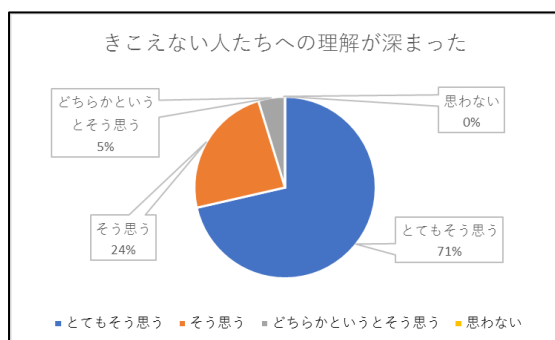
○新しいことに気づくことができた



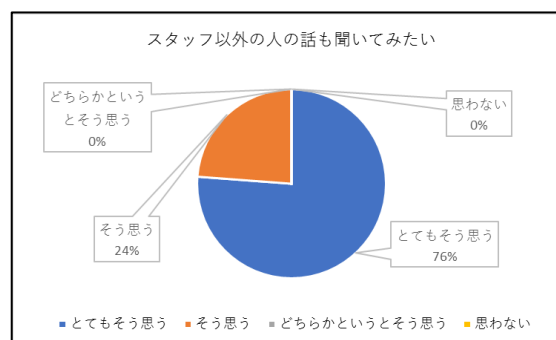
○きこえない事への理解が深まった



○きこえない人たちへの理解が深まった



○スタッフ以外の人の話も聞いてみたい



【自由記述】

0~2歳児の保護者

- ・いくみさんの会しかきけていませんが、生の声を聞き、勇気づけられました。「耳がきこえなくても大丈夫」と感じることができました。子供は子供の社会があることも分かり、親が頑張りすぎなくても大丈夫と思いました。たくさんの方のお話をききたいです。
- ・今まで知らない世界だったので勉強になります。
- ・参加した回に上記内容がなかったのでチェックを省かせていただきます。
- ・これは受けてないので分かりません。
- ・聞き逃したお話があるので、もう一度同じように話してほしいです。
- ・参加をしたかったが参加出来ず、今後もぜひやって欲しいと思う。スタッフの方だと後日また何か聞きたいことがあれば気軽に質問ができ、大人になってからの生き方を目の当たりにできるので、自分の子供の未来が描ける。
- ・毎回参加しているわけではないのですがゆたかさんの話も、あきさんの話も、いくみさんの話も各家庭、時代も違いま

H29 年度末アンケートのまとめ 報告

すから、その時その時のみなさんの前の“カベ”のことがうかがえて、とてもリアリティがあってとても興味深かったです。みなさんのようにメンタルが強い人間に、自分の子供になるかはわからないですが、「やりたい」と思ったことにチャレンジできる環境をあたえて応援してやりたいと思います。

- ・本当に希望が持てました。毎日子供の将来について不安に思う時間が必ずあります。個人的にはえらい先生よりも、身近なスタッフの方の人生を聞く事が、とても心に響き、夫婦間でも色々な話をする事ができています。

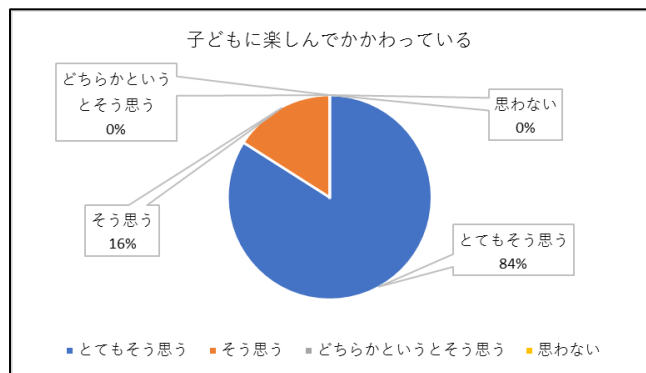
3歳児以上の保護者

- ・生き立ちも興味がありますが、手話が使えない方との関わり方やきこえる人達とのつきあい方など、人間関係のはなしや日常生活で困ることなどを詳しくお話し頂けると嬉しいです。
- ・参加したかったのですが、参加できませんでした。実際のろうの方の生き立ちや体験談は、今後も聞かせていただきたいと思っています。

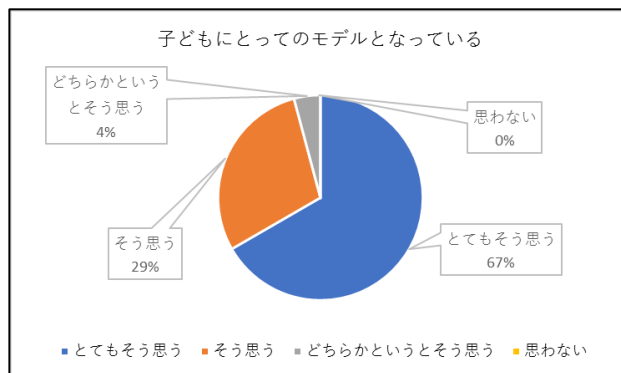
5. スタッフについて

- ・ろうスタッフについて

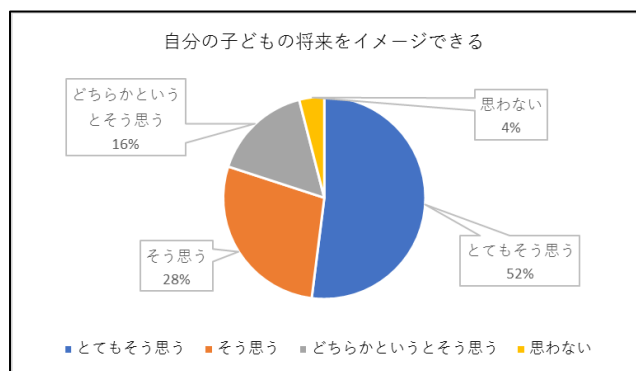
○子どもに楽しんでかかっている



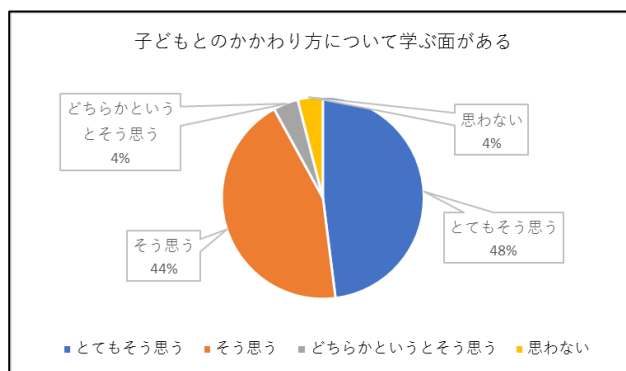
○子どもにとってのモデルとなっている



○自分の子どもの将来をイメージできる

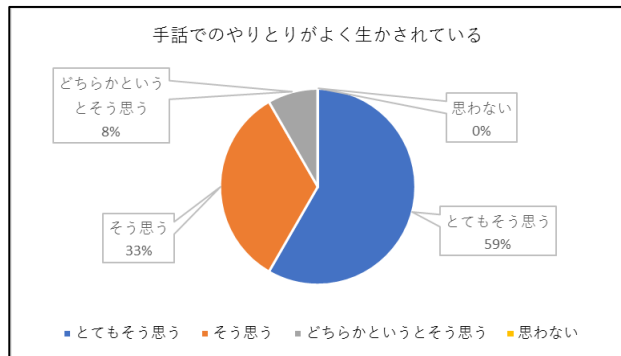


○子どもとのかかわり方について学ぶ面がある

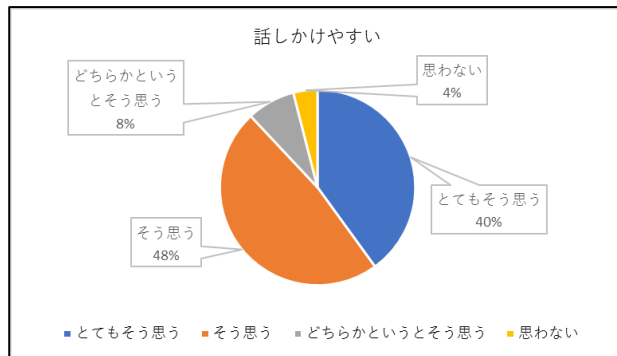


H29 年度末アンケートのまとめ 報告

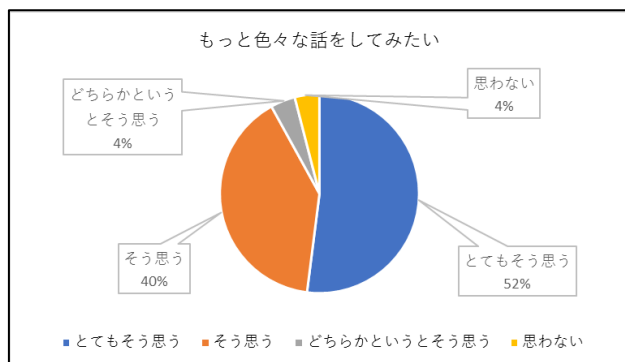
○手話でのやりとりがよく生かされている



○話しかけやすい



○もっと色々な話をしてみたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・ろうのスタッフの皆さんと関わることがとても楽しいです。健聴の子供達もそう感じていると思います。ろうのスタッフの方々の存在そのものが、娘(ろう)の存在じたいを尊重できるきっかけになりました。
- ・まだ手話が少ししか出来ないけどスタッフの方も手話を使って会話してるので目から色々情報収集して頑張って手を動かしています。
- ・みなさんニコニコ感じ良かったです。でも、スタッフの名簿一覧表とか受付とかにあると助かるかなど。なかなか覚えられずすみません…。できればニックネームだけではなくフルネームも。
- ・健聴の子供はどう思っているのかわからないですが、私は、自分の子供にとっていい刺激になっていると思うし、そうあって欲しいと思います。親もそうだけど、周りにあれだけペラペラと手話で話す人がいないし、分からないことも聞いたら教えてくれるお兄さんお姉さんがいて、私達からしたら、外国にいて日本人のグループに会うといったようにホッとする所があると思います。
- ・手話をよむのがまだまだ苦手なのですが、こめっこに参加する時は聴者のこちらがマイノリティーなので、どんどん話をさせていたきたいです。
- ・本当に感謝しております。土曜日等の貴重な時間にこの様な我々の子供のために尽力していただき感謝の言葉しかございません。

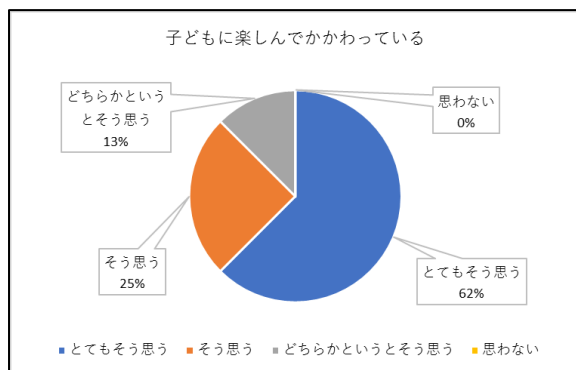
3歳児以上の保護者

- ・息子が「自分もきこえない、あのお兄さんもきこえない、同じだ！！」というようなことを感じているのかは分かりませんが、でも、手話を使ってお話ができる人達と多く関わることで、こめっこに通う前よりもかくじつに視野や世界が広がったように思います。

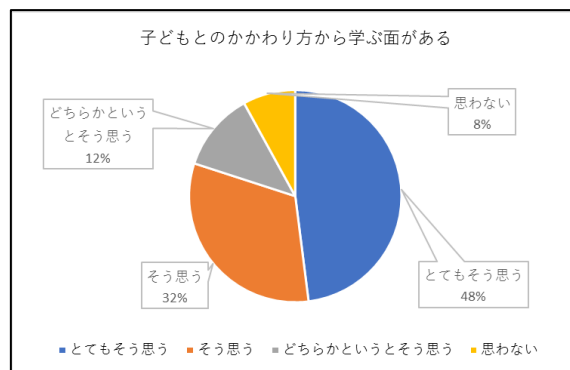
H29 年度末アンケートのまとめ 報告

・聴スタッフについて

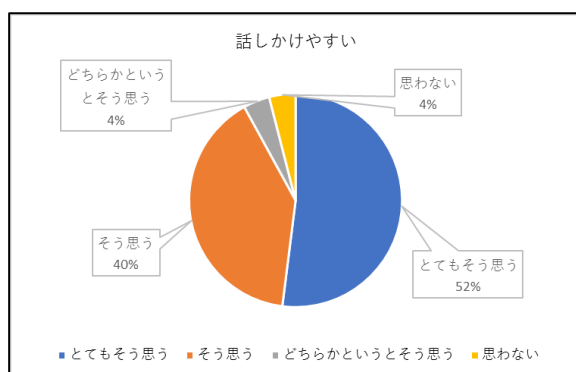
○子どもに楽しんでかかわっている



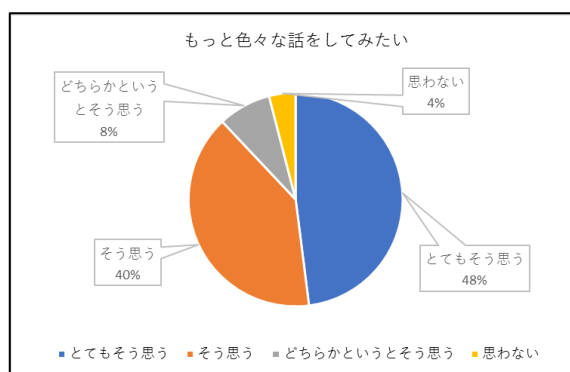
○子どもとのかかわり方から学ぶ面がある



○話しかけやすい



○もっと色々な話をしてみたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

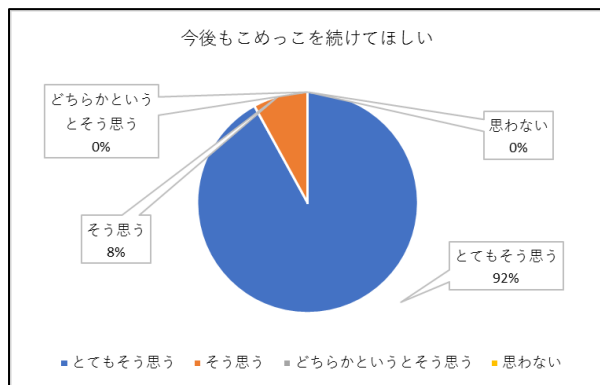
- ・皆さんが子供たちに対し、明るく接して頂いて、とても安心して参加できています。手話も口話も大変たくみに使われている姿に、自分も少しずつ手話ができるようになっていきたいと思います。
- ・子供のことをみていただいたり色々なこととお話できるのでありがたいです。自分よりも先輩などいいですね。だれが聴スタッフなのか分からず(河崎先生以外)なので、すみません。でもみなさん感じよかったです。きこえるきこえないに関わらず。
- ・手話通訳の方々も、だいたい毎回同じ方で顔なじみになってきたので、とてもいごちがいです。子供と遊んだりもしてくださるので、とても助かっています。
- ・ろうスタッフの方と同様、本当に感謝の言葉しかございません。時間が取れましたら、聴スタッフの方が何故、手話を取得することとなったのかも興味はあります。

3歳児以上の保護者

- ・臨床心理士の先生達と個別で相談できる時間があると良いと思います。具体的な悩みがあるわけではなくても、先生たちに今の状況をきいて頂いて、少しお話を伺えたら、勉強になることもたくさんあると思うので、可能であれば、お願い致します。
- ・小学生の方にもろう者だけでなく、コーダの子も交流し、コーダの先輩たちの経験を(生い立ちや体験談など)もっと聞かせたい。保護者が開くだけでなく、コーダの子たちも積極的に参加をし、聞かせてもらいたい。例えば、年1回か年2回か、BBQとか企画を作してほしい。(できたらね。)

6. 活動の継続について

今後もこめっこを続けてほしい



その他【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・子供の高度難聴がわかり、自分が何をどうすればいいのかわからず不安な毎日を送っていた時に「こめっこ」に参加させて頂きました。今までであうことのなかったろうの皆が大変明るく、毎日参加の度に「手話があるから娘は大丈夫」と思えるようになり、娘の兄達も、ろうの皆さんと手話を楽しみながらすごすことができます。娘は他の障害も持っている可能性があります「耳がきこえなくても大丈夫」「他の障害があっても大丈夫」と思えるようになりました。母としても、「娘を教育しなきゃ！」から「一緒に成長していければいい」と肩の荷物をおろしてリラックスして育児ができるようになりました。子供達との毎日を楽しめるようになりました。今後とも宜しくお願いします。
- ・これからもこめっこを続けて下さい。手話が身近にあるのはかなり大事なことだと思うので。言葉が話せない子供とのコミュニケーションに手話は必要でまだ少ししか出来ないけど子供が何がしたいとか言いたいことが理解できるようになってきて嬉しい子供のイライラも少しは減ってる気がします。
- ・どのような活動をしているのか前から気になっていて、初めて参加しました。子供が楽しめたらいいとだけ思っていたが、意外にも親の私達の方が、今までになかった情報、他の保護者の方の思いなど色々な話を聞く機会をもつことになり、とても役に立つなと思いました。これからも積極的に参加していきたいです。
- ・まだ2回しか参加できていないのですが、とても良い事業だと思います。これが月2回ではなく月4回、大阪市だけではなく他の市も当たり前のように開催されてゆく日が来ると良いなあと思いました。また色々な人にもっと広まると良いのですが、広がりすぎてもスタッフも大変でしょうし難しいですね。もっと相談タイムがほしい！という方は、3か月前に子どもが難聴と分かったばかりの方とかいたので、スタッフに声をかけてみてとかあれば良いなとも思いました。
- ・習い事について気になります。子ども達1人1人の聴力によって異なると思いますが、どんな習い事がオススメ・やりやすかったのか、逆に難しかった・挫折した等やっぱりある程度離せないと思われるのか…(悲しいですが)又、ろうスタッフの方が子供の頃されていた習い事はあったのか教えて欲しいです。
- ・初回に比べたら、断然よくなっていると思います。子供が小さい時(0,1,2歳ごろ)は、自分の意志も言わない、手話も教えてもすぐ出るわけもなく、身近にろう者がいないのでどこに相談したら、他の人はどうやってるのだろうと不安だらけで同じ悩みを持った保護者や、大人のろう者と触れ合える場所ができ、親の精神面ですごく助けられました。3歳になるとある程度、自分のことが出来、手話もたくさん出てきてはいるが、親が子供の手話に追いつかない、どういった所を工夫したり、気をつけてあげればいいのかといった育児のアドバイスをもらう場所になり、子供も同じ境遇、同じ言語を使う人達とたくさん出会えて安らぎの場になっていると思います。年齢や聴こえ方は色々だと思いますが、みなさんが楽

H29 年度末アンケートのまとめ 報告

しめて憩いの場になればと思います。大阪が誇れる一番のつどいの場であり、他県の方に「大阪はいいなあ～」と思われる場になるようこれからもスタッフの方々、大阪府の職員の方々、私たち保護者も含め、みんなでよりよい場所になるようがんばってほしいと思います。

- ・なかなか参加できていないのですが、色々な事(手話だったり、きこえない事について)の情報を得る事ができる場としてとても助かっています。手話を習いたいと思っても、活動してる(サークル)時間が主に19:00～と夜の部が多く、なかなか子供に向けて使う手話を習うのは、少し困難に感じていましたが、“手話ろうタイム”は、今、まさに、子育てで使う手話としてとても助かっていますし、youtubeでも確認できてとてもわかりやすいです。“聞こえない”事についての講話は、まだ、聞こえない事について手さぐりの状態の親にとっては、とても有難いです。スタッフの皆さんの生き生きとした姿を見ていると、とても気持ちいいです。これからもよろしくお願いします。
- ・現在、2歳で、ろう学校の早期クラス、難聴児の療育施設、こめっこ3つのところでお世話になっています。何もわからず、暗やみで手さぐりだった0歳のころから比べると、楽観的になれたこと、逆に現実をして、一緒に学んでいかなければ！！とあせったりしていますが、こめっこで知り合える難聴のおやごさんにはげまされたり教えてもらったり、とても私にとって有意義な場所になっています。主人と一緒に来ることがなかなかできないのは残念ですが、いい意味で、家族をできるだけまきこんで、難聴のことが特別でなくなるようになればいいなと思います。これからもいろいろな講演など企画してください。楽しみにしています。
- ・念願の子供、楽しみで楽しみで、もちろん出産時は立会い、人生の最高の時間と経験をして、3日後に「難聴」と知らされた時は、どうすれば良いのか、途方にくれました。全てのモチベーションが下がり、インターネットで難聴の事を調べる日々こめっこの事を知り、参加させていただきました。参加させてもらうと、「こんなに参加者がいるのか！」と、とても気を使ってくれるスタッフ様と元気な難聴の子供達にビックリしました。自分の人生で全く知らなかった世界で協力や努力をして下さっている方がいる事を知って頭をたたかれたような気がするのと、何かしら、子供に対して、「何とかなるんじゃないか？」と前向きに考えることができるようになってきている様に思います。聴こえる親、少なくとも私は、全く手話の世界を知りませんので、過去にあった口話・手話との関係はわかりませんが、手話の必要は十分に理解しています。まだ世界の入口に立った様なものなので、今だに深い闇のような部分があるのかもわかりませんが、こめっこに参加させていただいて、少なくとも私達の家族は手話は、家族でのコミュニケーションに必要であるとの考えに至っております。全てこめっこ活動の皆様のおかげです。こめっこの関係から手話の必要性に関しての思いを記入させていただきました。普段この様な欄に記入することなど皆無なのですが、感謝の気持ちしかありませんのでがんばりました。今後もよろしくお願いいたします。不倫や浮気ばかりしている国会議員や市議員にこの様な素晴らしい活動をしてきているスタッフや、難聴等で苦しんでいる関係者の姿を見て、どの様な見解をお持ちなのか聞きたいと思っている今日この頃です。
- ・初年度の活動、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。第1回から参加し、2回に1回くらいの出席率ですが、いつも快く迎えて下さり、とても感謝しています。息子にこめっこの写真を見せながら「行きたい？」と手話で聞くと、「要る」と手話で返してくれ、急いでおもちゃを片づけ始めるくらい大好きな場所になっています。いつも走り回ってご迷惑をかける事も多い息子ですが、温かい目でフォローして下さるスタッフの方々に感謝しかありません。新年度は息子も3才になり、3才～チームに合流してお兄さん、お姉さんに混じり、手話も含めて学べる場になる事を期待しております。長文・乱文失礼しました。新年度もよろしくお願い申し上げます。

3歳児以上の保護者

- ・こめっこに来ているお子さんの半分近くは人工内耳をされています。人工内耳をつけている大人の話も聞ける機会がほしいです。また、こめっこは未就学児対象のためこれから小学校選びについて悩まれている人も多くおられるかと思えます。地域の小学校、難聴学級、聴覚支援学校それぞれのメリットデメリットを教えていただけたらうれしいです。どうしても支援学校にいと、そのまま小学部へ上がることの説明しかされず、学校の先生にもききづらいです...
- ・いつも運営ありがとうございます。子供がこめっこで楽しそうにしていると、こちらまで嬉しくなり、一緒に参加しようと思ってしまう。色んな先生方が来られての講演も、学びがあり、ありがたいです。兄弟がいるとなかなか予定も重なり来れないこともありますが、来れる時は来させてもらいます。ろう児のすこやかな成長のために親が情報を得て、自信がもてるようになるために、これからも続けていって頂けるとありがたいです。今後ともよろしく願います。
- ・聴覚障害児が集まれる場所を作って頂いて、本当に嬉しく思っています。子供もいつも楽しみにしていて、手話で関わられるので、何が起きているのか分かるからか、安心してスタッフの皆さんと遊んでいて、こめっこが大好きです。ありがとうございます。手話が通じる場所が増えたことで、子供の世界がちょっと広くなり、人とコミュニケーションをとるという楽しさを体感できていて、多くの人と接することが大事だと強くかんじています。これからもこめっこという場所を長く続けていって頂けるとすごく嬉しいです。また保護者むけの講演会なども考えて下さり、6月から今まで、大変勉強になりました。育てていくなかで、子供が自分の障害とどう向きあっていくのか、まだまだ未知で不安もありますが、たくさんのお話しを参考にうちの家族の形を大事に作っていきたいと思います。
- ・とつてもとも思う。今後もこめっこを続けてほしいのですが、小学生になると参加できなくなると思うと淋しいです。小学生向けにも作ってほしいなと思っております。ろう者だけではなく、コーダの子たちも交流の場がほしい。
- ・毎回、色々なことを考えて改善していくこめっこスタッフのみなさん本当にありがとうございます。続けていくことに意味があると思うので、これからも色々企画して下さることを期待しています。月2回だけではなく週1回ペースで実施出来たら一番いいのですが♡(なかなか難しいと思います)これからもこめっこの良さを周りに伝えて、どんどん人が増えていったらいいなって思います。0~2才のお母さんはどうしても子どもの世話を追われがちで、手話を学びたくても子どもが目をはなせなかったり、泣いたりで集中できなくて大変な一つて思います。私達が何か出来ることがあれば協力したいのですが…。もっと親同士の交流もしたいです。特に子どもが同い年の母で話をしてみたいです。こめっこは子ども達の将来につながっていくと私は思っています。これからもお世話になりますが、よろしく願い致します。こめっこがあって良かった♡♡色々な人に会えて良かった♡♡この出逢いを大切に子どもにも伝えていきます。
- ・乳幼児期に手話のある場はとても大切であり、貴重な場です。一方、聴覚障害の早期発見と人工内耳等の聴覚活用が進む中、子どもの実態や保護者のニーズがますます多様化しています。個人的な見解ですが、手話は英語や日本語同様、1つの言語であるからこそ、覚えやすい人と覚えにくい人がいると思います。(子どもも保護者も)手話は使う機会があれば覚えますが、使わないと忘れてしまうものであり、必要性を感じないと使わなくなるだろうなど。私が見聞きした例では、0~2才頃までは身振りや手話で頑張ってコミュニケーションをとっていたが、(人工内耳をつけてから)3才位になると子ども本人が手話を使わず音声だけでコミュニケーションをとるようになって、保護者も自然と使わなくなり、手話を忘れてしまうケースがあります。(但し、子どもが人工内耳を外しているときは全く聞こえないので、子どもからの発信は音声、保護者からは手話という時もあります。)こめっこでも、“いろいろなプロセスを経て、今こうして生きている。”というろう者・難聴者を保護者の方々に知ってもらうため、ひき続きスタッフのミニ講演や中高生の保護者の話をきける場がほしいです。人工内耳装用者の話も、できたら聞いてみたいです。子どもはこの1年間、こめっこで恵まれた経験をさせていただきました。お世話になりました。どうもありがとうございました。

H29 年度末アンケートのまとめ 報告

- ・他に参加されている保護者の方ともっと話をしてみたいです。大人数のグループだと話づらい雰囲気になるので5～6名程度のグループに分けて話したいと思います。若いう者の話が聞けてとても、勉強になりました。
- ・乳幼児期だけでなく、小学生対象の支援もつくってほしい。みんなの集まれる場になってほしいと思った。
- ・就学後を対象とした活動を希望したい。現在は、ろう学校に通学していて普段から親子で手話が身近なものになっているが、地域の小学校へ入学を予定しているため、手話を使わなくなり、ろうのお友達とのコミュニケーションが取れなくなるのでは？と不安です。月に2回でも小学生対象の活動があると継続して手話を使うことができるかと思います。

こめっこ活動報告

これまでの活動実施日（平成 29 年度）

# 1	6 月 17 日	TKP 大阪堺筋本町カンファレンスセンター	
# 2	7 月 1 日	ドーンセンター	
# 3	7 月 15 日	ドーンセンター	
# 4	8 月 5 日	ドーンセンター	
# 5	8 月 19 日	ドーンセンター	篠田あゆみ氏ミニレクチャー
特別企画	9 月 2 日	阿倍野市民学習センター	特別企画（oioi、もずやん）
# 6	9 月 16 日	ドーンセンター	金沢佑治先生・岡野高之先生 交流
# 7	9 月 30 日	ドーンセンター	こめっこスタッフ久保沢ミニレクチャー
# 8	10 月 7 日	ドーンセンター	※0-2 歳児のみの活動
# 9	10 月 21 日	ドーンセンター	南村洋子先生講演会 「きこえない子を育てて、今、思うこと」
# 10	11 月 4 日	ドーンセンター	こめっこスタッフ物井ミニレクチャー
# 11	11 月 18 日	ドーンセンター	
# 12	12 月 2 日	ドーンセンター	木島照夫先生講演会 「自己肯定感を育て、ことばも育てる-手話も日本語も-」
# 13	12 月 16 日	ドーンセンター	
# 14	1 月 20 日	ドーンセンター	こめっこスタッフ横田ミニレクチャー
# 15	2 月 3 日	ドーンセンター	
# 16	2 月 17 日	ドーンセンター	武居渡先生講演会 「コミュニケーションから手話、そして読み書きへ」
# 17	3 月 3 日	ドーンセンター	
# 18	3 月 17 日	ドーンセンター	

こめっこの主な活動の流れ

受付 13:00～

第一部 13:30～14:20

休憩 14:20～14:30

第二部 14:30～16:00

第一部	子どもと保護者ともに活動		
	なまえよび・絵本		
	0～2歳グループ 保護者も一緒にやりとりをして楽しむ ひとりひとりに関わる こどもたちのなまえよび 絵本、てあそび など	3歳以上グループ 楽しみながら、手話に 触れる遊びをする 手話つくろう クイズ(手話による説明) など	
	休憩		
第二部	保護者	0～2歳	3歳以上
	手話ろうタイム10! (ミニ手話学習会)	保護者が見える ところで、スタッフ と遊ぶ	部屋を移動し、子どもと スタッフで遊ぶ
	ミニレクチャー 保護者同士の交流 講演会など	絵本、パズルなど	手話かるた、運動遊び、 ジェスチャーゲームなど

取材に来られた報道機関 12 組（新聞社 6 社、放送 5 番組、出版社 1 社）

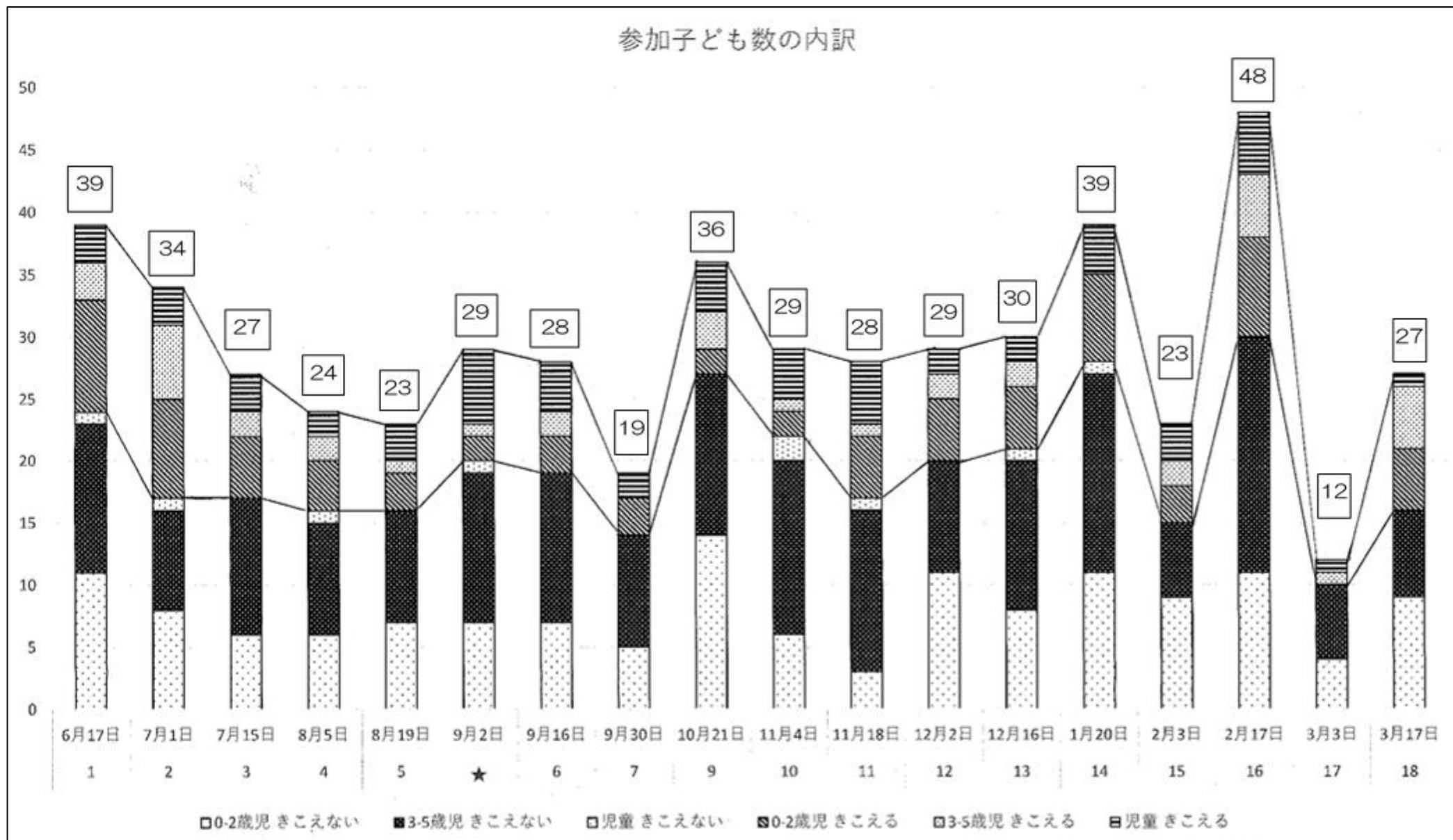
主な見学者の所属先

日本財団、大阪府健康医療部地域保健課、京都府障害者支援課、大阪府手話言語条例評価部会委員、
社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会、公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会、大塚ろう学校早期相談員、
群馬大学、福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校、福岡県立小倉聴覚特別支援学校、児童発達支援事業所なないろ、
手話エンターテイメント発信団 oioi など

1回目から18回目までの、遊び内容と、手話ろうタイム10!の内容

	第一部 子ども全員の活動	第一部 0~2歳と3歳以上とで分かれての活動	第二部の活動 (3歳以上)	手話ろうタイム10!の内容	
#1 6/17	名前呼び、絵本「だるまさんの」「だるまさんが」「びよーん」キャラクターの手話表現と、手遊び「とんとんとん」(アンパンマン)		自由遊び		
#2 7/1	名前呼び、絵本「だるまさんと」「たまごのあかちゃん」	0-2歳：名前呼び、絵本「いないいないばあ」、「おいしいね」 3歳以上：アンパンマンの手話当て	自由遊び		
#3 7/15	名前呼び、絵本「へびくのおさんぽ」	0-2歳：名前呼び、絵本「おいしいね」 3歳以上：おちたおちた	お絵かき、ジェスチャーゲーム		
#4 8/5	名前呼び、絵本「とんとんとん」	0-2歳：名前呼び、絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」 3歳以上：おちたおちた	ジェスチャーゲーム、お絵かき、自由遊び		
#5 8/19	名前呼び、絵本「とんとんとん」	人数の関係で、絵本の後、第二部にはいった。	おちたおちた、自由遊び、運動遊び		
特別企画 9/2	名前呼び(oioi、もずやんも) 絵本「ねずみのえんそく もぐらのえんそく」、oioiのパフォーマンス、もずやんに手話を教えよう				
#6 9/16	名前呼び、絵本「だるまちゃんどてんぐちゃん」	0-2歳：名前呼び、絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」 3歳以上：手話つくろう	自由遊び、運動遊び		褒めることば
#7 9/30	名前呼び、絵本「たまごにいちゃん」	0-2歳：名前呼び、絵本「のりものいろいろかくれんぼ」 3歳以上：手話つくろう	自由遊び、運動遊び		しつけのことば
#8 10/7	名前呼び、絵本「びよーん」手遊び「とんとんとん」(アンパンマン)	0-2歳のみ活動日のため、分かれての活動は無し。			赤ちゃんと話そう!
#9 10/21	名前呼び、絵本「おかしなかくれんぼ」	0-2歳：名前呼び、絵本「だるまさんの」 3歳以上：じゃんけんぼん	じゃんけんゲーム、火の玉ドッジ、スイカわり、鬼ごっこ、ハンカチ落とし		気持ち(感情)のことば
#10 11/4	会場の関係で、初めから分かれて活動した。	0-2歳：名前呼び、手遊びとんとんとんアンパンマン 絵本「たまごのあかちゃん」 3歳以上：名前呼び、手話つくろう 絵本「ねずみのいもほり」	ジェスチャーゲーム、自由遊び、運動遊び	気持ち(感情)のことば part2	
#11 11/18	名前呼び、絵本「せんろはつづく」	0-2歳：名前呼び、絵本「だるまさんの」 3歳以上：手話つくろう	ジェスチャーゲーム、自由遊び、ボール運び	うごきのことば	
#12 12/2	名前呼び、絵本「たろうくんのじどうしゃ」	0-2歳：名前呼び、絵本「いっしょにあそぼ!」、手遊び「とんとんとんとん」(クリスマスバージョン) 3歳以上：手話つくろう	スタッフ三択クイズ、自由遊び、ボール運び	うごきのことば [行く]をつかって	
#13 12/16	名前呼び、絵本「ぼくのくれよん」、手遊び「とんとんとんとん」(クリスマスバージョン)	0-2歳：名前呼び、絵本「いっしょにあそぼ!」 3歳以上：クイズ!どっちが正解?	手話カルタ、コラージュ・お絵かき、「とんとんとんとん」(クリスマスバージョン)の発表練習	お正月につかうことば、お正月あそび	
#14 1/20	名前呼び、絵本「じゃんけんぼん」	0-2歳：名前呼び、手遊び「まめまき」 絵本「おにぎりくん」 3歳以上：スタッフいくみを知ろうクイズ	手話カルタ、自由遊び、ボール運び	うごきのことば [洗う]をつかって	
#15 2/3	名前呼び、絵本「きよだいなきよだいな」手遊び「まめまき」	0-2歳：名前よび、絵本(手遊び含む)「やさいさん」、「べんぎんたいそう」 3歳以上：スタッフゆみを知ろうクイズ	手話カルタ、自由遊び、新聞紙で豆まき、爆弾ゲーム	量にかんすることば食事編	
#16 2/17	名前呼び、絵本「どうぶつしんちょうそくてい」手遊び「鬼のパンツ」	0-2歳：絵本(手遊び含む)「やさいさん」、手遊び「とんとんとんとん」(ひなまつりバージョン) 3歳以上：仲間外れクイズ	これなんだ?クイズ、手話カルタ、お絵かきしんけいすいじやく、ボール運びリレー、新聞紙をちぎって紙ふぶき	買い物にいこう!	
#17 3/3	名前呼び、絵本「ねずみくんのチョッキ」手遊び「鬼のパンツ」	0-2歳：名前よび 絵本(手遊び含む)「やさいさん」、手遊び「とんとんとんとん」(ひなまつりバージョン1番と2番) 3歳以上：仲間外れクイズ	手話カルタ、しんけいすいじやく、手遊び「鬼のパンツ」発表練習および発表	公園であそぼう!	
#18 3/17	名前呼び、絵本「くれよんのくるくん」	0-2歳：名前よび 手遊び「とんとんとん」(アンパンマン) 絵本「だるまさんの」 3歳以上：仲間外れクイズ	グループで「こめっこ」キャラクターの塗り絵、爆弾ゲーム、キャラクター塗り絵の発表	こめっこについてはなそう!	

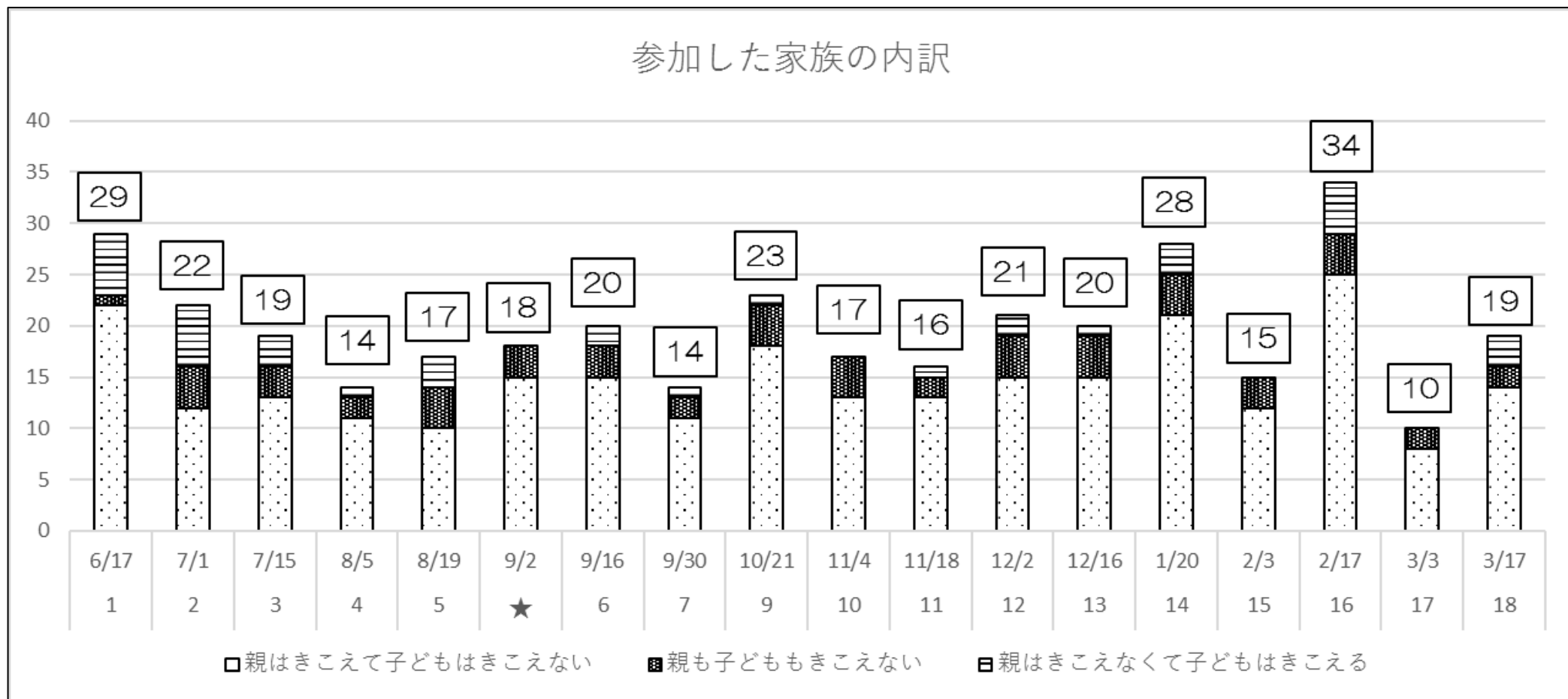
平成 29 年 6 月 17 日～平成 30 年 3 月 17 日までの参加子ども数



#8 10月7日は、0-2歳児のみの活動のため、グラフから省いています。

(0-2歳児のきこえない7人、0-2歳児のきこえる4人、3-5歳児のきこえる1人 合計12人の参加)

平成 29 年 6 月 17 日～平成 30 年 3 月 17 日までの参加家族の内訳



#8 10月7日は、0-2歳児のみの活動のため、グラフから省いています。

(保護者がきこえる・子どもがきこえない7家族、保護者がきこえない・子どもがきこえる1家族 合計8家族の参加)

・リピーターの割合 30% (90 家族中 27 家族)

2017 年度講演数 計 6 回

講演先：寝屋川市聴覚障害者協会、第 22 回ろう教育フォーラム in 大阪、2017 年度近畿ろうあ連盟幹部研修会 in 和歌山、大阪手話通訳研究会京阪ブロック、三市合同研修 (阪南市市民福祉課、貝塚市障害福祉課、泉南市障害福祉課)、兵庫県三田市 みみの日大会